

研究の概要

1. 研究主題

主体的に学び、伝え合い、深め合う子の育成 ～国語科における「言語活動の設定」と「対話の充実」の研究を通して～

2. 主題設定の理由

本校では、昨年度「学びを楽しむ子の育成」を主題に、国語科を中心として学びの原動力を与える授業づくりを目指し、学校研究に取り組んできた。「見通し」、「つながり」、「達成感・有用感」の3つの柱を軸に、授業設計の工夫を行ってきたことで、学習がわかったり、できるようになったりすることに楽しさを感じられる児童の割合は増えてきた。

しかし、昨年度の学力テストの結果から、自分の考えをまとめる力や、文章のよさを見つける力に課題が見られた。また、質問紙の結果から、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」や、「授業で自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」の、肯定的な回答がどちらも8割に達していなかった。また、「国語の勉強が好きだ」「国語の勉強がよくわかる」という項目も肯定的な回答がとても少なかった。さらに、普段の授業の様子からも、話し手の伝えたいことは何か考えながら聞く力に課題が見られ、相手意識をもって自分の考えを伝えたり、考えをよりよくしたりしようとする思いも弱い傾向にある。そのため、学習課題に対して真面目に取り組むことはできても、自分から積極的に学びを求めていくという姿や、自分の考えを伝え合い、深め合う姿に課題が残った。

そこで、今年度は、主体的に学び合う子を育成するために、児童の学ぶ意欲を引き出す「言語活動の設定」と「対話の充実」に重点を置くこととした。そのために、教師が指導事項をもとに児童につけたい力を明確にし、目的や必要感を感じさせる言語活動を設定し、児童と共有する。そして、その力をつけさせるために、どのような課題が適切であるかを吟味し、学習計画などを使って、ゴールまでの見通しを示す取り組みを行っていく。

次に、伝え合い深め合う子の育成を図るために、児童が共に学び合い、自分の考えを広げたり深めたりすることのできる対話の充実にも取り組んでいく。そのために、これまでの学習で培ったことを本時の学習につなげていく。また、ICT等を活用し、自己決定や自己選択の場づくりを工夫したり、学び合いがより深まるような教師の発問や問い返しも吟味したりしていく。

このように、主体的に取り組むようになる「言語活動の設定」、つながりを意識した「対話の充実」を図ることで、主体的に学び、伝え合い深め合う子を育成できると考え、本主題を設定した。

3. めざす児童の学びの姿

主体的に問いをもち
自分の考えをもつ姿

★具体的な姿

- ・単元のはじめに「やりたい!」と思えている。
- ・本時の学びに興味や関心をもっている。
- ・見通しを持っている。
- ・課題に対する自分の思いや考えをもっている。

他者との交流を通して
自分の考えを深める姿

★具体的な姿

- ・友達の意見と自分の考えと比べながら聞き、ともに考え、新たな気づきがある。
- ・他者との交流を通して、考えを共感し合っている。
- ・対話によって自分の考えを深めたり広げたりしている。

つけたい力がつき
達成感をもつ姿

★具体的な姿

- ・「つけたい力」がついたことを実感することができる。
- ・ねらいに対してふり返りを書いている。
- ・自己の変容を自覚したり、新たな課題をもって次の学習につなげたりしている。

4. 主な研究内容

(1) 主体的に取り組みたくなる言語活動の設定

- ・つけたい力に合わせた言語活動の設定
- ・ゴールの姿の共有
- ・見通しと目的意識を持たせた単元計画の作成と提示

(2) つながりを意識した対話の充実

- ・交流モデルや話型、交流で使いたい言葉の提示
- ・活発な対話を促す、話したくなる課題や発問の工夫
- ・交流の目的で意図の共有と必然性にある交流場面の設定
- ・目的や意図に応じたペア、グループ活動の効果的な活用

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・対話の視点、必要性を持たせる・対話をさせるタイミングを考える・自分の考えを再構築する場と時間をつくる |
|---|

【学習を支える基盤づくりとして取り組むこと】

①学習環境・言語環境の充実

- ・「相手を大切にした聴き方・話し方」「話し合い」についての段階的な指導の充実
- ・児童の思考がつながる手立てとしての既習掲示

②基礎的・基本的な知識及び技能の定着

- ・学習習慣・学習規律の徹底
- ・学期末・学年末漢字計算テスト、パワーアップタイムの計画的実施
- ・活用問題の実施 (いしかわ学びの指針12か条+ 8条)

③家庭との連携

- ・家庭学習の手引き作成及び活用
- ・家庭学習強化週間 (学期に1回) (いしかわ学びの指針12か条+ 9・12条)

④良好な人間関係の育成

- ・生徒指導の4つの視点に立った授業づくり (自己決定・自己存在感・共感的な人間関係・安心な居場所づくり)
- ・認め合い、高め合える学級づくり
- ・心と体の基盤づくり (いしかわ学びの指針12か条+ 6・8条)

⑤学び合いの充実

- ・めざす授業像の作成と共有
- ・発問の仕方や場の設定など、授業展開の工夫
- ・授業力向上を目指した日常的な授業改善
- ・主体的な問題解決につながる効果的なICTの活用 (いしかわ学びの指針12か条+ 7・10・11条)

⑥言語能力の向上

- ・情報活用の取組と言葉の宝箱の活用
- ・条件作文の取組 (いしかわ学びの指針12か条+ 3・5条)

5. 研究構想図

学校目標

『進んで学び高め合い、心豊かに生き抜く川北っ子の育成』

考える子

わざをみがく子

きれいな心の子

たくましい子

研究主題

主体的に学び、伝え合い、深め合う子の育成

～国語科における「言語活動の設定」と「対話の充実」の研究を通して～

めざす児童像

- ・主体的に問いをもち、自分の考えをもつ姿
- ・他者との交流を通して、自分の考えを深める姿
- ・つきたい力がつき、達成感をもつ姿

それなら
もっと

伝えたい!

見通し つながり 振り返り

わかった!
できた!

やってみよう

主体的に取り組みたくなる言語活動の設定

つながりを意識した対話の充実

学習を支える
基盤

学び合いの充実

- めざす授業像の作成と共有 (研究推進委員会)
- 発問の仕方や場の設定など授業展開の工夫
- 授業力向上を目指した日常的な授業改善
- 効果的なICTの活用 (研究推進委員会)

言語能力の向上

- 情報活用の取り組み
- 条件作文 (研究推進委員会)

学習環境・言語環境の充実

- 話し方、聞き方、話し合いの段階的な指導の充実
- 児童の思考につながる手立てとしての既習揭示

基礎的・基本的な知識・技能の定着

- 学習習慣・学習規律の徹底 (学習指導部)
- 校内漢字計算テスト (学習指導部)
- パワーアップタイム・活用問題 (学習指導部、教務部)

良好な人間関係の育成

- 生徒指導の4つの視点に立った授業づくり (授業者)
- 認め合い、高め合える学級づくり (各担任)
- 心と体の基盤づくり (生徒指導部、保健安全・体育部)

家庭との連携

- 家庭学習の手引き (学習指導部)
- 家庭学習強化週間 (学習指導部)

6. 研究の進め方

①国語科を中心とする授業研究

授業実践を重視し、授業の中で児童が自分の考えをもち、よりよく表現し、学び合う姿が見えるような授業づくりに取り組む。また、互いの授業を参観し合い、授業研究会での意見交換を通し、研究主題に迫る方策を探る。

②校内研究について

- ・低学年部会、中学年部会、高学年部会、特学部会の4つの部会を組織し、研究を深める。
- ・計画訪問、要請訪問にて研究授業を行う。

全体での研究授業・・・計画訪問、要請訪問の2回の研究授業
 全体での研究授業以外・・・部会での研究授業

- ・全員が全体研究授業、部会研究授業のいずれかを行い、日々の授業にいかしていく。
- ・研究授業については、各部会の研究推進委員を中心にして、部会で事前に指導案の共同立案及び検討会を持ち、全員で意見を出し合って授業を作り上げていく。
- ・全体研究授業については、指導案検討会を全体で持ち、授業者の意図をふまえてから授業を参観する。
- ・部会研究授業の指導案検討、および授業整理会は部会で行い、積極的な意見交流をする。
- ・授業記録、記録写真などの仕事は、各部会で受け持つ。
- ・教材研究や授業を行う際は、部会内外で相談し合うとともに、積極的に外部講師・指導主事を招聘し指導助言をあおぐ。

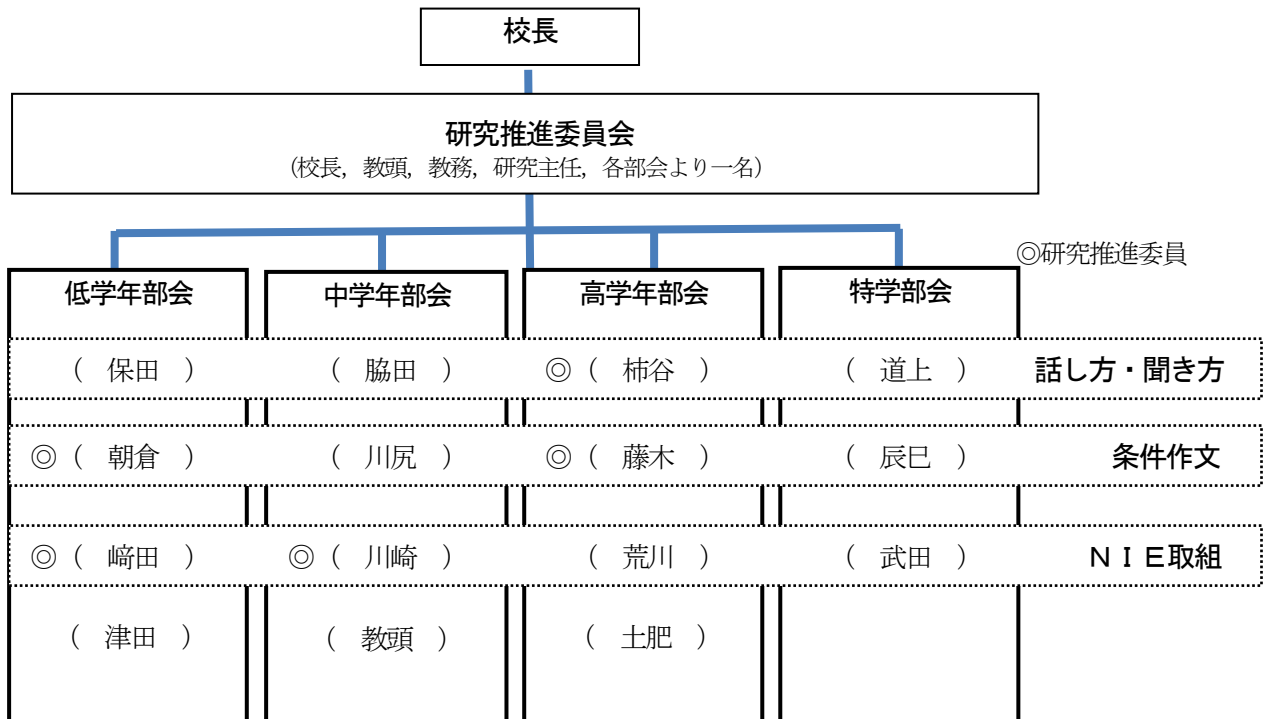
③検証方法

- ・児童アンケートによる意識調査
- ・職員アンケートによる意識調査、のセルフチェックシート
 (・条件作文の検証)

④学校研究だより

- ・研究授業後、授業整理会を受けて、授業者は考察を含めた授業報告を作成する。自身の振り返りを行うことで、授業改善につなげる。さらに、研究主任が全教員へ還元することで、効果的な指導等を共有する。

7. 研究組織



8. 研究計画

期日		会名	内容	学年授業者
4月	6 10 27	研究推進委員会 校内研究会 要請訪問	今年度の研究について 今年度の研究について・研究内容の確認 今年度の研究について (西河指導主事)	
5月	17 25 31	校内研究会 要請訪問(中学部会) 校内研究会	提案授業「要旨マスターになって、自分の考えを友達に発表しよう！」(6限) 指導案様式、単元計画シート 授業整理会 単元構想について (西河指導主事) 要請訪問指導案検討	5年1組 藤木
6月	1 8 19 22	研究推進委員会 校内研究会 高学年部会 校内研究会	要請訪問について 模擬授業 高学年部会授業 要請訪問「段落のひみつを探ろう！」(5限)	5年2組 土肥 4年1組 川尻
7月	5 21 26	研究推進委員会 校内研究会(部会) 研究推進委員会	1学期のふり返りの仕方について・アンケート項目検討等 〔児童・職員アンケート①〕 1学期の取り組みについて 成果と課題 1学期の成果と課題・計画訪問に向けて	
8月	4 7 24	校内研究会 校内研修会 校内研究会	計画訪問に向けて・計画訪問指導案検討 GIGA 出前サポート(国語科における ICT 活用) 2学期の取り組みについて	
9月	4 19	校内研究会 低学年部会	部会研究授業での学びの共有 (指導案検討、授業実施、整理会) 低学年部会授業	2年1組 保田
10月	11	校内研究会	研究授業(模擬授業) 計画訪問指導案	
11月	7	校内研究会 中学年部会 高学年部会	計画訪問「はたらくじどう車びったりずかんをつくってともだちにしょうかいしよう！」(5限) 中学年部会授業 高学年部会授業	1年1組 朝倉 3年2組 川崎 6年1組 荒川
12月	 13 23 26	中学年部会 研究推進委員会 校内研究会(部会) 研究推進委員会	中学年部会授業 〔児童・職員アンケート②〕 今年度のまとめに向けて 2学期の取り組みについて 成果と課題 今年度の成果と課題 検証	3年1組 脇田
1月	9	校内研究会	3学期の取り組みについて・成果と課題の共有	
2月	14 28	研究推進委員会 校内研究会	研究のまとめ・次年度に向けて 今年度の研究のまとめ・次年度に向けて	

